



八学光星の印象などについて語る中京大中京の高橋源一郎監督。26日、兵庫県尼崎ベイコム球場

かく戦う

27日に甲子園球場で行われる選抜高校野球大会の準々決勝(午前8時半開始予定)で対戦する八学光星の仲井宗基監督と、中京大(愛知)の高橋源一郎監督が26日までに、それぞれ取材に応じ、相手の印象などについて語った。

(千葉達也、小嶋嘉文)



意気込みを語る八学光星の仲井宗基監督。26日、兵庫県西宮市の津門中央公園野球場

中京大 高橋源一郎監督

一チームの状態は。全体的にコンディションは良く、ここまでの試合でも普段通りの力を出せている。練習もいつもと同じように打撃、守備をしっかりとこなした。準々決勝でも選手たちは持てるものを全て出してくれているはずだ。

一八学光星の印象は。強力打線と高い投手力は全国上位レベルにある。特に打者の柱の北口(寛大)君は素早い中京の野球を見せたい。

一相手の印象は。チームに新しい伝統をつくりたい。初戦のように自らほころぶことのないようにしっかりとしたゲームをしたい。

一警戒する選手は。一番の田中大晴は2回戦の帝京(東京)戦で4本のヒットを打っている。当たっている選手は出塁させないようにしたい。

一意気込みを。久しぶりにセンバツで二つ勝となれば一流の仲間入りに勝つので、もう一つ勝つてなるのかなと思う。

八学光星 仲井宗基監督

一相手の印象は。チームに新しい伝統をつくりたい。初戦のように自らほころぶことのないようにしっかりとしたゲームをしたい。

一警戒する選手は。一番の田中大晴は2回戦の帝京(東京)戦で4本のヒットを打っている。当たっている選手は出塁させないようにしたい。

一意気込みを。久しぶりにセンバツで二つ勝となれば一流の仲間入りに勝つので、もう一つ勝つてなるのかなと思う。

粘り強い野球見せる

相手の1番打者警戒